

全自動 DNA 診断装置

企 業 / (株)ユニオン

研究者 / 近藤壽彦（群馬大学医学部保健学科講師）

DNA固相化プローブ充てんカラム内臓PCR増幅装置、液体クロマトグラフとコンピュータータル制御による遺伝子解析システムで、熱溶出クロマトグラフとして得られた、遺伝子解析データに基づき、これにサンプル前処理装置を改良付加し、具体的な全自動DNA診断装置としてまとめた。

- ・ 血液で、DNA抽出全自動化とアルツハイマー病のDNA診断データが、得られた。
- ・ DNA抽出工程は、1つのガラスビーズが熱溶着サンプルビンですべての処理が可能となり、しかも6検体並列処理が行えるので、1検体20分程度である。
- ・ 血液サンプルの必要量は、10～20 μ lで十分な結果が得られた。